

論点に対する回答（国土交通省）

| | |
|--|---|
| | 行政手続コストの削減、入札・契約手続の簡素化について |
| 省 庁 名 | 国土交通省 |
| 論 点 | <p>(1) コスト計測結果につき、御報告いただきたい（件数、一件あたりの作業時間（工程別））</p> <p>削減率は初年度比（第6回行政手続部会（平成30年12月14日）にて報告いただいた値からの削減率）</p> |
| <p>【回 答】</p> <p>① 経営事項審査に係る行政手続コスト、削減結果及び計測方法 （削減結果）</p> <p>経営事項審査に係る1業者平均の行政手続コストは以下の通り。</p> <p>申請書類作成：1時間59分（初年度：2時間17分）</p> <p>確認書類収集：1時間32分（初年度：2時間8分）</p> <p>合計：3時間31分（削減率20.5%）</p> <p>計測初年度の手続件数は、140,209件であり、行政手続コスト総計は約498,364時間と試算される。</p> <p>（方法）</p> <p>申請者へのアンケートにより、工事請負契約書の提出範囲の縮小及び技術職員が有する資格を証する書面等の写しのうち、有効期限の定めがなく、過去の経営事項審査において既に提出されたものについての再提出の不要化によって、削減される作業時間を調査した。</p> <p>② 競争参加資格申請に係る行政手続コスト、削減結果及び計測方法 （削減結果）</p> <p>競争参加資格に係る1業者平均の行政手続コストは以下の通り。</p> <p>申請書類作成：55分（初年度：1時間5分）</p> <p>添付書類取得：1時間17分（初年度：2時間9分）</p> <p>合計：2時間12分（削減率32.0%）</p> <p>計測初年度の手続件数は40,407件であり、行政手続コスト総計は約88,892時間と試算される。</p> <p>（方法）</p> <p>発注者及び申請者へのアンケート等により、独自の申請様式を使用していた一部機関が統一様式に変更したことによる書類作成の不要化および一部機関にて統一様式以外に別途提出を求めていた追加書類の提出不要化によって削減される作業時間を調査した。</p> | |

| | |
|-------|--|
| | 行政手続コストの削減、入札・契約手続の簡素化について |
| 省 庁 名 | 国土交通省 |
| 論 点 | <p>(2) 経営事項審査申請について、オンライン化に当たってのBPRの徹底、申請書類の簡素化、ワンスオンリーの徹底等を行い、行政手続コストの更なる削減を実現することとされているが(規制改革実施計画(令和2年7月17日閣議決定))、取組状況を御説明いただきたい。</p> <p>特に、作成負担が大きいとされた書類(工事経歴書、技術職員名簿)に関して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工事経歴書は確認書類となる工事の請負契約書等の提出対象範囲縮小を検討する ○技術職員名簿には、有効期限がない資格の有資格者については、過去提出を受けていれば以降の提出は不要とする運用を検討する <p>としていたところ(第8回デジタルガバメントワーキング・グループ(令和2年3月23日))、取組とその成果について御報告いただきたい。</p> |
| 【回 答】 | <p>工事経歴書の確認書類として工事請負契約書等の提出を求めるにあたっては、建設工事の種類毎に請負代金の大きい上位3件を基本とすること(①)、また技術職員が有する資格を証する書面等の写しを求めるにあたっては、有効期限の定めがなく、既に過去の経営事項審査において提出を受けている場合は再度の提出を不要とする運用(②)について、既に各許可行政庁あてに事務連絡を発出済。本事務連絡をもって、国土交通大臣あてに申請される経営事項審査については全て、上記の通り運用が変更されているところ。都道府県知事あての経営事項審査を含めても、全57許可行政庁のうち、①の簡素化については47許可行政庁(82.5%)、②の簡素化については52許可行政庁(91.2%)において既に簡素化が実施されているものと承知している。</p> <p>また、アンケート調査より、上記運用によって削減される行政手続きコストは手続き1件あたり平均55分と試算され、削減率は約20.5%となる。</p> <p>さらに、経営事項審査の申請手続きについては規制改革実施計画に記載のある通り、令和4年度中にオンライン化すべく、電子申請システムの構築に向けた検討を進めているところ。システムの構築にあたっては、申請者にとって利便性の高いシステムとなるよう、他省庁等とのバックヤード連携により、提出資料をさらに簡素化する方策についても併せて検討を行っているところ。</p> |

| | |
|--|--|
| | 行政手続コストの削減、入札・契約手続の簡素化について |
| 省 庁 名 | 国土交通省 |
| 論 点 | <p>(3) 中央公共工事契約制度運用連絡協議会における取組について、同連絡協議会に加入している機関については、平成 31 年度より競争参加資格申請書の統一様式が使用されていると承知。令和 2 年 11 月以降は、加入している全機関において独自の追加書類を求めないこととする予定としていたところ、具体的取組とその成果について御報告いただきたい。</p> <p>競争参加資格申請のインターネット一元受付システムについて、未参加の機関に対して、メリット等を説明しつつ引き続き参加を働きかけしていると承知しているが、具体的取組とその成果（令和 2 年 3 月時点では計 23 機関が参加中）について御報告いただきたい。</p> |
| <p>【回 答】</p> <p>追加書類を求めていた一部の機関において、令和 2 年 11 月以降、追加書類を求めないとしたことにより、中央公共工事契約制度運用連絡協議会に加入している機関において、独自の追加書類を求める機関はなくなり、添付書類作成時間の短縮につながった。</p> <p>競争参加資格申請インターネット一元受付システムの参加を働きかける取組として、中央公共工事契約制度運用連絡協議会総会において、システム概要とそのメリットについて説明し、参加検討機関に対して個別の相談・説明等を行っている。</p> <p>なお、令和 3 年 4 月 1 日時点で参加機関は 23 機関、未参加の機関は 14 機関となっている。</p> | |

| | |
|--|---|
| | 行政手続コストの削減、入札・契約手続の簡素化について |
| 省 庁 名 | 国土交通省 |
| 論 点 | <p>(4) 地域発注者協議会を活用した入札契約手続の簡素化に向けた取組について、令和2年1月に公共工事の品質確保の促進に関する法律に基づく「発注関係事務の運用に関する指針」が改正されたことも踏まえ、引き続き、入札契約手続の簡素化に向けた取組についても積極的に情報共有を行っていく予定としていたところ、情報共有等の具体的取組とその成果について御説明いただきたい。</p> |
| <p>【回 答】</p> <p>令和2年度は、全国10ブロックの全てにおいて、地域発注者協議会を開催し、入札契約手続の簡素化に向けた取組について積極的に情報共有を行った。</p> <p>具体的には、新型コロナウイルス感染症下においても円滑な発注体制を確保するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングの原則省略やテレビ会議を活用した総合評価委員会などの入札契約手続の柔軟な対応 ・技術的難易度が比較的低い工事での指名競争入札の活用 ・概算数量発注の活用 <p>などの入札契約手続の柔軟な対応等を行うよう、令和2年5月7日付で全国の地方整備局等に対して通知を発出し、地域発注者協議会等を通じて地方公共団体等の発注者に周知し、積極的に情報共有を行った。</p> <p>加えて、3次補正予算成立時にも、引き続き入札契約手続全般の柔軟な対応等を行い、受発注者双方の負担を軽減し、できるだけ早く入札契約手続が進められるよう、令和3年1月29日付で通知を発出し、地域発注者協議会等を通じて地方公共団体等の発注者に周知した。</p> <p>なお、入札契約手続の具体的な運用は、最終的には各発注機関の判断で決定されるものであるが、国の取組も参考に、適切な対応が行われているものと認識。</p> | |

| | |
|--|---|
| | 行政手続コストの削減、入札・契約手続の簡素化について |
| 省 庁 名 | 国土交通省 |
| 論 点 | (5) 競争参加資格における「簡易確認型」については、各地方整備局において試行を実施。令和2年度には、試行の結果を踏まえ、全ての地方整備局において毎年作成している入札・契約に関するガイドラインに、簡易確認型を本格導入するための運用方法が規定されるよう指導をしていくこととしていたが、具体的取組とその成果について御報告いただきたい。 |
| <p>【回 答】</p> <p>競争参加資格における「簡易確認型」については、平成28年度より各地方整備局等（以下、「地整等」という。）において試行を実施（当該方式の導入効果が見込まれない等の一部の地整等を除いて導入済み）。令和2年度は、各地整等が作成している入札契約に関するガイドラインに、簡易確認型を本格導入するための運用方法を規定するよう指導し、8地整等においてガイドラインを改定済。提出書類の簡素化につながる一方、受発注者間の確認事務の増加、手続期間が長期化すること等の課題も把握。</p> | |